

亀岡防犯推進委員連絡協議会篠支部（京都府）



皆様こんにちは。亀岡防犯推進連絡協議会篠支部の隅田と申します。まずトップバッターで発表させていただきます。

コロナ対策のためですが、今回のような、観客が点在している会場で発表させていただくのはこれまであまり経験がありませんが、早く慣れたいと思います。

【京都府】

亀岡防犯推進委員連絡協議会 篠支部



亀岡市篠町（しのちょう）



本日は、私たちの活動を中心に発表させていただきます。まずは、1枚目のこの写真ですが、イベントの時の写真です。「明智かめまる」と言いまして、我が亀岡市のマスコットキャラクターです。割と人気があるみたいで、亀岡市は今、Jリーグの京都パープルサンガのホームスタジアムもできて、割と活気がある所だと思っています。まず、亀岡市で私たちが活動しているエリアの紹介をさせていただきたいと思います。亀岡市の篠町と申しまして、世界中の人が知っている大都市京都の西隣りにありますのが亀岡市でございます。その中で篠町は、京都市を越えてすぐの境のところでございます。これが皆さんご存じのトロッコ電車です。その出発点がその昔、国鉄の馬堀駅という名前の駅で、私が京都市内まで学校に通っている頃は、ずっとこの路線で通っていました。今はトンネルができて、新しいJR嵯峨野線の馬堀駅が少し移動して、昔の馬堀駅の場所にトロッコの亀岡駅というのがございます。ここから京都市内の嵯峨までよく修学旅行とかで使われていて、インバウンド人気も高く、コロナ以前は外国人の方々も大勢来るような所でした。また、このあたりをずっと京都縦貫自動車道という高速道路も走っていきまして、篠インターチェンジがあります。そこも篠町の中のエリアになっております。亀岡市の人口が今、約8万6千人で、最盛期は約9万6千人でしたが、ちょっとずつ減っております。その中でも一番京都市に近いところが、近年住宅開発が非常に進んでおりまして、その影響で、篠町の人口も増えており、現在約1万9千人で、亀岡市の人口の20%強が篠町に住んでおります。面積は亀岡市全体が225平方キロメートルで、この前に、特別区の投票がありました大阪市とほぼ同じ面積です。大変地域は広いのですが、その内の約1割強がこの篠町のエリアになっております。

【篠町にゆかりのある歴史上の人物】

足利高氏(尊氏)「太平記」

明智光秀「麒麟がくる」

【伝説】

酒吞童子



トロッコ列車と保津川下り



丹波松茸



アムモドキ(平井智治氏撮影)



丹波くり

篠町にゆかりのある歴史上の人物として有名なのが足利尊氏です。この「尊」という字は、亀岡に六波羅探題を攻めに京都に行った時が1333年で、この時はまだ「高」という字です。高い低いという「高」の字を使っておりました。その後、六波羅探題を滅ぼしたという栄誉をもって、天皇からこの尊いという「尊」をいただいたということもありまして、大河ドラマの「太平記」とかに取り上げられております。それから今「麒麟がくる」の主人公の明智光秀も、同じように篠町を通して

本能寺に攻め入ったということでございます。それから「酒吞童子」という鬼伝説がありまして、一条天皇の頃、京都で鬼が暴れているということで、大変武勇に秀でた源頼光に鬼退治を命じました。頼光が鬼を退治した後、その首を京都の方に持って帰ってくる道中に、京都市と亀岡市の境にある老ノ坂峠という峠があるのですが、そこに差し掛かると鬼の首がすごく重たくなり、頼光の家来で、相撲取りよりも体格が良いと言われていた坂田公時（さかたのきんとき）でも持てなくなったということで、その場所に埋めて供養したのが、首塚という所でございます。今もずっと4月に祭典をされておりますので、良かったら観光に来ていただければと思います。ただ、京都市側からは車で来ることができず亀岡市側からしか入れない所でございます。それから先ほどもお話しした、トロッコ列車や保津川下りがあります。保津川下りも結構全国的に有名でございます。亀岡から嵐山まで川下りができます。それから、食べ物としては丹波松茸や丹波栗が有名です。また、最近有名になりました「鮎もどき」という天然記念物が生息しているという特徴がある町です。

篠支部について

構成員 24人

平均年齢 64歳(43歳~77歳)

職業 会社員、公務員、会社役員、市会議員等



自治会と連携

様々な地域活動を防犯の視点で関わっています



それでは、いよいよ私たちの支部の紹介に移ってまいります。

構成員は、現在24名です。平均年齢が64歳。43歳が一番若いのですが、この方は市の職員でございます。職業は今お話ししたように市役所の職員や会社員、自営業など様々なメンバーがいます。また、市議会議員も3名ほどこの中に入っております。一番の売りといましては、自治会との連携です。地元密着型ということで、物資は自治会にお世話になりながら活動させていただいております。様々な地域活動に防犯の視点で関わるといことで、防犯だけでなく、最初の表紙の写真でもご紹介させていただきましたが、地域のイベント活動に携わりながら、地域とともに歩む支部として活動しています。

防犯パトロール活動

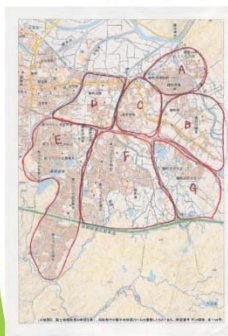
青パトの日……

毎週土曜日午後9時
から午後10時までの
パトロール活動

現在はコロナ感染
防止対策により
時短、方法の変更
をしています。



7コースにわけてパトロール



一番のメインの防犯パトロール活動は「青パト」活動です。青色回転灯をつけた車で地域を回りながら啓発活動などするわけですが、これは、今コロナの関係で活動のやり方を変えております。従来は毎週土曜日の午後9時から10時までの1時間、地区を7つのエリアに分けて、パトロールしながら、スピーカーで啓発文を流してやっておりましたが、今までと同じやり方ではなかなか難しい。自治会の車がこのような軽のワゴンなのですが、従来は、3人なり4人で詰め込んで走っていたのですが、これでは3密になってしまうので、この御時世よくないのではないかと。しかし防犯パトロールでございますので、青パト活動はしなければならないということで、工夫を凝らしてやっております。

亀岡市立安詳小学校や 敬老会で防犯寸劇を実施

高野 警 地デジ詐欺注意 亀岡 寸劇で手口紹介

2月21日(月)の地デジ詐欺注意「地デジ」完全移行を前に、京都市亀岡市安詳小学校の児童らも被害に遭いかねない。被害者となるべく、児童らにも被害に遭いかねない。被害者となるべく、児童らにも被害に遭いかねない。



地デジ化に伴ってデジタル放送に切り替えたテレビの購入などが必要になり、被害者となるべく、児童らにも被害に遭いかねない。被害者となるべく、児童らにも被害に遭いかねない。

「地デジ詐欺」をテーマにした劇も、最初が地デジ詐欺と紹介して、後から劇の内容が明らかになる。児童らにも被害に遭いかねない。被害者となるべく、児童らにも被害に遭いかねない。

それから、この写真は、私達の地区の中に小学校が2つあるのですが、そのうちの1つの小学校で毎年開催している防犯寸劇で、こちらは敬老会です。これも地元の行事ということで、京都新聞に取り上げられたものです。敬老会ですので、次々と新しい手口でお年寄りを騙す犯罪が発生していますので、何とかそれを防ぎたいということで、毎年、新しいシナリオ考えながら、独自のシナリオで寸劇をやっております。亀岡警察署からいろんな情報をいただきまして、シナリオを書いてやっております。

安詳小学校における 「いかのおすし」ダンス



子供達の興味を引くために学校の先生にも寸劇に出演してもらっています。

それから、皆さん、子ども安全対策の合い言葉で「いかのおすし」というのを聞いたことがあるかと思います。「知らない人にはついていかない」というあれです。そういった小学生に知っておいて欲しい内容について、防犯教室で、最初は我々委員だけで防犯寸劇などをやっていて、もちろんそれでもウケたんですけども、できるだけ多くの方を巻き込んでやりたいということで、小学校の先生方にも防犯寸劇に参加していただくことにしました。先生も忙しい中で練習にも来ていただきました。最初に寸劇をして、最後に「いかのおすしダンス」を踊るという流れでしています。これがちょうど踊っている風景ですね。これは私が司会をしている様子です。

敬老会での特殊詐欺抑止の 防犯寸劇



防犯寸劇のシナリオは



警察署から最新の犯罪手口、小学校からは要望を聞いてその都度作成

それから、先ほど申しましたように敬老会では、主に「特殊詐欺（オレオレ詐欺等）」を取り上げてやっております。役者もたくさんおまして、普段は防犯活動しているのですが、この時だけは私たちが「犯人」になりきって、果敢に劇をやっております。防犯寸劇のシナリオは、亀岡警察署から最新の犯罪手口、あるいは小学校の先生や校長先生あたりから御希望を聞きながら、全くオリジナルの台本を作成し、寸劇をさせていただいております。

子ども見守り活動



これは「子ども見守り活動」です。防犯目的はもちろんですが、交通安全も兼ねて、子供たちの見守り活動をしています。2つの小学校区の通学路で、児童の登下校時間帯に合わせて要所要所に立ちながら見守り活動をしています。もちろん委員全員が参加できるわけではありませんが、先ほど言ったように、様々な職業の方がおられますので、やはり御勤めの方は難しいということもありますし、参加できる方だけでもいいので出てくださいということで、現在6名ほどの委員

さんが、PTA や青少協（篠町青少年健全育成協議会）の方々と一緒に活動しています。

継続した防犯ボランティア活動をしてもらうためにやっていること

①一人あたりの 負担を減らす

活発に活動する人だけでの活動になってしまい、特定の人に負担が掛かってしまう

**1班3名で構成し、8班編成で順に
パトロールをしてもらうことで一人
あたりの負担を軽減！**

②金銭面の負担を減らす

青パトに使用する車は自治会の公用車を使わせてもらう

○ガソリン代や保険代金を自治会に負担してもらえなくなり、金銭面での負担軽減となった。

○防犯推進委員の誰もがその車両を使ってパトロール出来るようになった。
（青パト従事者が同乗している場合に限る。）



継続したボランティア活動をしてもらうために工夫していることですが、まず1人あたりの負担を減らそうということです。どうしてもボランティアとなると、負担に思われる方が非常に多い。実際負担があることは仕方がないので、それでも1人当たりの負担をできるだけ減らしましょう。ということで、1班3名という構成にして、8個班、 $3 \times 8 = 24$ 名で、順番に毎週土曜日に活動していますから、8週間で順番が一回りするというやり方にしています。8週間ですから2か月ですね。だから2か月に一度パトロールの当番が当たるようにして、できるだけ個人の負担を軽減して

おります。

それから、金銭面の負担は先ほども申し上げたように、自治会におんぶに抱っこみたいなところがありまして、青パトに使用する車は自治会の公用車で、ここに「篠町自治会」というシールを貼っています。そこでほとんど防犯パトロールでしか使わないのですが、スピーカーを取り付けてもらって、CDに録音した啓発文を流します。青パト回転灯は着脱式のものを使っています。自治会の公用車を使う分、車の運行に関する経費、維持費やガソリン代は全て自治会で負担していただきますので、大変助かっています。それから、青パト従事者の資格が要るのですが、これを持っている方は誰でもできるということにしています。

③やりがいを持ってもらう

a.スキルの向上
研修会の実施、参加



や亀岡警察署主催の講習会にも参加するようにしております。この写真は、その研修会の風景ですね。

b.地域から「感謝される存在」として広報活動に力を入れる

自治会広報誌へ投稿



ホームページへの投稿



それから、これは「篠町自治会だより」と言いまして、自治会が年3回発行している広報誌です。この編集は、手前味噌ながら私が担当しております、編集長ということで、役得でもないのですが、防犯の総会に関する記事や名簿などを載せたりして、広い地域で人口の多い町でございすけれども、こういう方が防犯推進委員として頑張っておられますよということについて広報をしています。

また、自治会のホームページの製作も私が担当しております。こちらの方も篠町自治会のホームページの中に、その活動を随時入れ込んでおりますので、こういったことを通じて、防犯推進委員という人たちがボランティアで、夜暗い中でパトロールしてくれていますよと広報させていただいて、住民に感謝をしていただけるような活動に邁進しています。

楽しみながら、防犯ボランティア活動
をしてもらえるように・・・



防犯推進委員という「出会い」を
大切にしてもらえるよう懇親会や親睦ツアーを実施

地域に根ざした活動にするため
自治会・市行事等に積極的に参加、協力



徘徊老人捜索訓練

それから、私たちのメンバー間の親睦を深めるため、ボランティア活動だけでは大変なので、その他にもレクリエーションなども取り入れています。これは東福寺ですね。大変紅葉で有名で、もうすぐ今年も真っ赤な紅葉の海になるような東福寺です。そこに行った時の写真です。去年は、例年今の時期にライトアップをされている永観堂にお邪魔しました。そういったレクリエーションを通じて、委員さんの中の知り合った喜びというものを知ってもらえるようにしております。

その他、亀岡消費者大学というイベントに出演したり、亀岡光秀まつりという明智光秀公のパレードに参加したり、それから徘徊老人の捜索訓練などもしています。

以上、活動紹介でございました。ご清聴ありがとうございました

おわり



ご清聴ありがとうございました。